

あなたの館ならではの活動に、
資金を。情報を。ノウハウを。

船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

日本中のミュージアムを

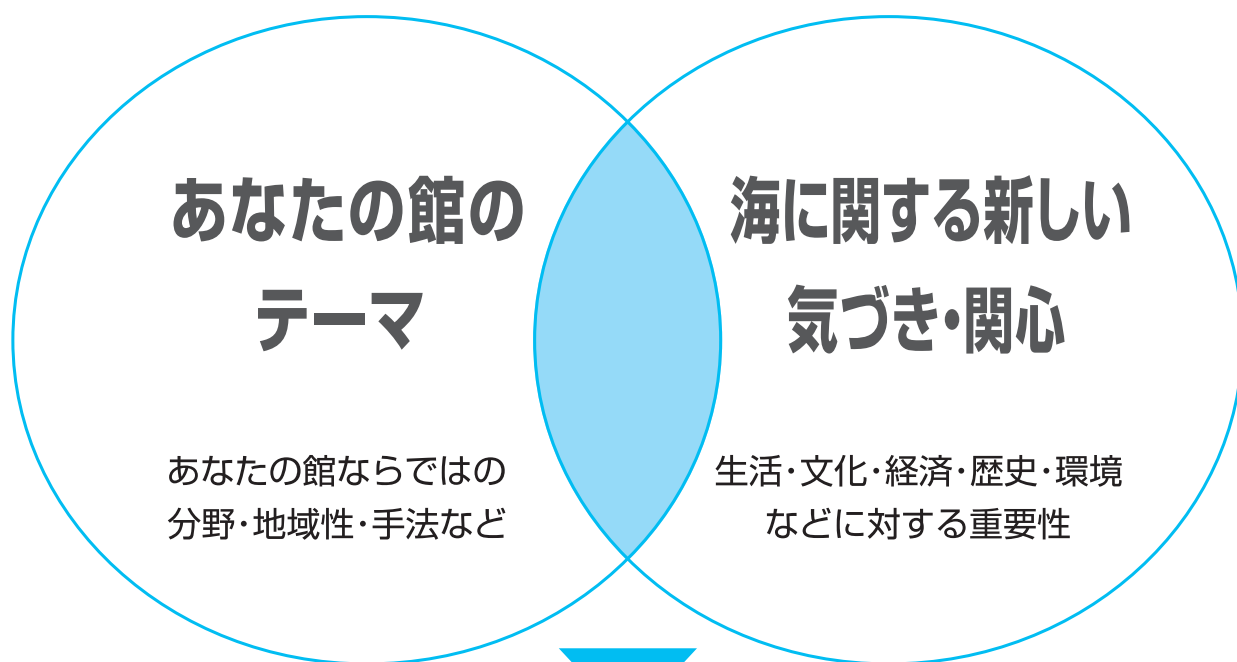
あなたの館ならではの活動に、 資金を。情報を。ノウハウを。

海に囲まれた日本だから、海の大切さを学ぶ体験を日本中へ。
博物館、美術館、水族館をはじめ、
あらゆるミュージアムの活動を支援し、学びの場を広げていく。
それが「海の学び ミュージアムサポート」です。
あなたの館ならではの、
海の展示・事業・イベントなどをあらゆる角度からサポートします。
ミュージアムの数だけ、「海の学び」がある。
さあ、あなたの館でも、新しい活動を。

「海の学び」とは

本事業における海の学びとは、「海洋教育」の一環となる活動です。
海洋教育とは、「海に親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、
さらに海と人との共生のために「海を利用」しながら「海を守る」ことの大切さを学ぶものです。
社会教育の観点はもちろん、学校教育をも含め、
「海洋」に関する生涯学習の場を広げることを目指しています。
「海を守る」ことの大切さを学ぶことで、毎日の中で海を意識して行動できる人を
数多く育成し、次世代に豊かな海を引き継いでいきます。

支える、新しい仕組みです。



「海の学び」

あなたの館独自の切り口で、
海の学びを生みだしてください。

海を専門としない、あなたのミュージアムにも。

海にまつわる知識やノウハウを持つ館はもちろん、これまで海に関連する活動を一切行ったことのない館も積極的にサポートします。海の価値はさまざまです。「うちの館は、海とは関係ないな」というミュージアムにも、実は海をとりあげるテーマがある、という場合がたくさんあります。

Case1

海を有する県の総合博物館

海中の遺跡をテーマとした活動による海の学び

Case2

山の中の自然史系・歴史系資料館

山・川・海のつながりをテーマにした活動による海の学び

Case3

街の中の美術館

海をテーマとした演劇やアウトリーチ活動による海の学び

ミュージアムの活動に合わせ

企画展を開催したい

プログラム①「海の企画展サポート」

あなたの館ならではの切り口で、「海の学び」を生む企画展の資金をサポート。企画展及び関連するイベントもサポートします。



ミュージアムパーク茨城県自然博物館
(2020年度事業)



千葉県立関宿城博物館
(2017年度事業)



いおワールド かごしま水族館
(2019年度事業)

新たな教育普及事業を行いたい
教材キットを作成したい
など

プログラム②「海の

Aコース 博物館活動

企画展以外の「海の学び」を生む博物館での多種多様な事業・イベントをサポート。



青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸
(2015年度事業)



長崎県美術館
(2017年度事業)



御食国若狭おばま食文化館
(2019年度事業)

次年度の募集時期や支援金額について

様々なサポートプログラム

海の学びの事業実施に向けた調査研究を行いたい

プログラム③「海の学び調査・研究サポート」

あなたの館ならではの、オリジナリティのある「海の学び」をカタチにするために。準備のための調査・研究活動の資金をサポートします。



名古屋市博物館
(2017年度事業)



蘭越町貝の館 (2015年度事業)

博物館活動サポート

学校向けのプログラムを展開したい
学校で活用できる教材を作成したい
など

Bコース 博学連携活動

学校教育現場と社会教育施設の連携による、次世代への海をテーマにした新たな学びの機会をサポート。



南さつま市坊津歴史資料センター輝津館
(2015年度事業)



様似郷土館
(2018年度事業)



さしわだ自然資料館
(2018年度事業)

では最終ページをご確認ください。

ミュージアムの活動に合わせた 様々なサポートプログラム

年度ごとにテーマを設定し募集

海の学び特別サポートプログラム

海洋に関する教育の総合的なサポート体制構築の一環として、事務局が特に求めたいテーマを重点的にサポートするプログラムです。そのため、年度ごとにテーマを設定・公募し、サポートを行います。

■過去のテーマ

2018年度：博学連携

2019・2020年度：アウトリーチ教材の開発

2021・2022年度：オンライン学習プログラムの開発

なお、これらのテーマについては、当該年度以降もプログラム2「海の博物館活動サポート」で募集をしておりますので、お気軽に事務局までご相談ください。



青森県営浅虫水族館（2019年度事業）



北海道大学総合博物館（2019年度事業）

よくある質問

Q1 これまで海に関する事業を実施したことがないのですが、申請できますか？

A1 過去に「海」を題材にした企画展や活動をしたことがないミュージアムや、一見海と関係がないと思われる分野や地域からのご相談・ご申請も多数いただきました。「海」をテーマにした新しい学びの実践として、是非当サポートの活用をご検討ください。

Q2 申請はどのように行えばよいのですか？

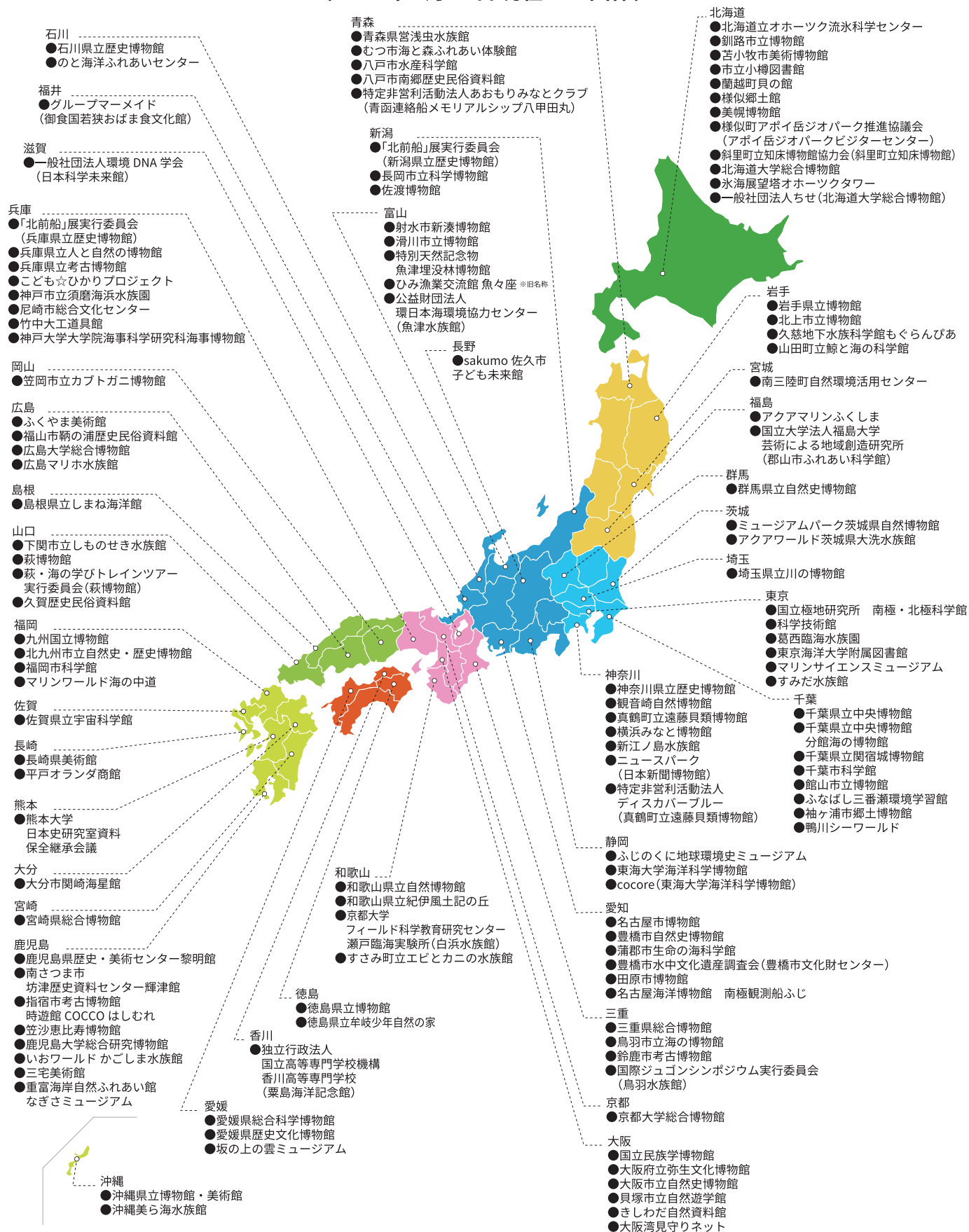
A2 まずは、正式なご申請の前に、当サポート事務局までお電話でご連絡をお願いいたします。お電話では、ご申請を検討されている事業について簡単にお伺いしながら、ご申請までのお手続きについてご案内いたします。また、申請書のご提出前に、ご記入いただいた内容の確認をさせていただいております。そのため、ご申請のご相談から正式なご申請まで、1か月～2か月ほどかかる場合があります。ご相談いただく際はできる限り余裕をもってご連絡をお願いいたします。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

今までのサポート事例を公式HPにて紹介中！
船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業実践事例集

サポート活用施設(機関・団体)一覧

(2022年5月31日現在 130団体)



ご応募ください。役立つサポートプログラム

Program 1

海の企画展サポート

あなたの館ならではの切り口で、「海の学び」を生む企画展の資金をサポート。必要に応じ、情報・ノウハウ面の支援も行います。

【募集要項】

- 受付期間：
前期 2022年11月1日(火)～2022年12月15日(木)
後期 2023年 3月1日(水)～2023年 6月30日(金)
※後期募集分については、受付期間内であっても、予算額に達し次第受付を締め切ります。予めご承知おきください。
- 支援金額上限無し / 支援率上限80%

Program 2

海の博物館活動サポート

企画展以外の、「海の学び」を生む多種多様な事業・イベントの資金を幅広くサポート。学校との連携活動に関する事業も積極的にサポートします。必要に応じ、情報・ノウハウ面の支援も行います。

Aコース
博物館活動

Bコース
博学連携活動

【募集要項】

- 受付期間:2023年3月1日(水)～2024年2月29日(木)
- 支援金額上限300万円 / 支援率上限100%

Program 3

海の学び調査・研究サポート

あなたの館ならではの、オリジナリティのある「海の学び」をカタチにするために。準備のための調査・研究活動の資金をサポートします。

【募集要項】

- 受付期間:2023年3月1日(水)～2024年2月29日(木)
- 支援金額上限50万円 / 支援率上限100%

海の学び特別サポートプログラム

毎年指定のテーマを対象に「海の学び」を生む企画展以外の博物館活動の実践やプログラム開発等を幅広くサポート。必要に応じ、情報・ノウハウ面の支援も行います。

2023年度
オンライン学習プログラムの開発

【募集要項】

- 受付期間:2023年3月1日(水)～2024年2月29日(木)
- 支援金額上限300万円 / 支援率上限100%

詳しくは、下記にてご確認・お問い合わせください。
なお、ご申請の際は事前に事務局までご連絡をお願いいたします。

▶ウェブサイト

海の学びミュージアムサポート

検索

<https://uminomanabi.com>

▶電話お問い合わせ

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」事務局

03-5500-1113

船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

公益財団法人 日本海事科学振興財団

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」事務局

〒135-8587 東京都品川区東八潮3番1号

TEL:03-5500-1113 / FAX:03-5500-1190

E-mail:uminomanabi@funenokagakukan.or.jp